



# BB32N、BB32N-2 BB32N-3、BB32N-4 リアボックス取扱説明書

商品品番 : BB32N 27944707  
BB32N-2 27944714  
BB32N-3 27944721  
BB32N-4 27944738

## はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。取付けの前に必ず取扱説明書をお読み頂き、内容をよく理解して正しく取付け作業を行いご使用ください。取扱説明書は大切に保管し、本製品もしくは本製品を装着した状態で車両を譲渡などする場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

## 本製品について

モトボワットBBの32Lバイク用リアボックスです。  
通勤・通学を始め、様々な用途で活躍します。



### 警告

- ・車両に本製品を装着すると装着前と比較して走行安定性が変化しますので、法定速度を必ず遵守することを前提に慣らし運転と慎重な運転を行ってください。事故につながる恐れがあります。
- ・本製品を含め、車両に装着されたキャリアの重量制限に従ってください。過積載や、かたよりのある積み方は転倒などの事故の原因になります。
- ・取付け後は緩みやガタつきがないか確認し、定期的にボルトの増し締めを行ってください。また、毎回走行前に取付状態の点検を行ってください。走行中に部品が緩んだり外れたりした場合、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ・走行中に異常が発生した際は、直ちに車両を安全な場所に停車させて異常箇所の点検を必ず行ってください。そのまま走行すると、事故につながる恐れがあります。
- ・オフロードなど悪路での走行及び使用は行わないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故につながる恐れがあります。
- ・本製品に載せる荷物は、車両の後ろにはみ出さないようにしてください。はみ出した荷物が周囲の車両に衝突すると、事故の原因となります。
- ・本製品に載せる荷物は、飛散する可能性があるものや爆発物、引火性のあるものなど、危険物や運送規制に抵触するものは積まないでください。事故につながる恐れがあります。


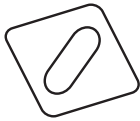



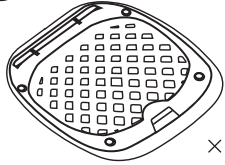



### 注意

- ・本製品に載せる荷物は、均等に分散して積んでください。偏った荷重分布では、車両のバランスが崩れ、事故の原因となります。
- ・本製品に荷物を積む前に、荷物の形状やサイズに合わせて、本製品内部のスペースを確保してください。荷物が本製品にぶつかりながら走行すると、荷物や本製品が損傷する恐れがあります。
- ・本製品には、運転中に開けたり閉めたりしないでください。事故の原因となります。

## 取付方法

- 1 **B** 四角ワッシャーを **F** ベースプレートの穴に配置します。
- 2 **E** 固定用ブラケットをリアキャリアの下に配置します。  
( **E** の穴の位置はベースプレートの上にある **B** の穴の位置と一致させる必要があります )
- 3 **A** 取付ボルトを上から下の方向で、**B**、**F**、**E** の穴を通します。
- 4 **D** ナットを使って締め付けます。
- 5 **G** ベースプレートカバーを **F** に引っ掛けて、**C** ベースプレート用ネジで締め付けます。

<b>A</b> 取付ボルト  ×4	<b>B</b> 四角ワッシャー  ×4	<b>C</b> ベースプレート用ネジ  ×4	<b>D</b> ナット  ×4
<b>E</b> 固定用ブラケット  ×4	<b>F</b> ベースプレート  ×1	<b>G</b> ベースプレートカバー  ×1	



G



A



B



F



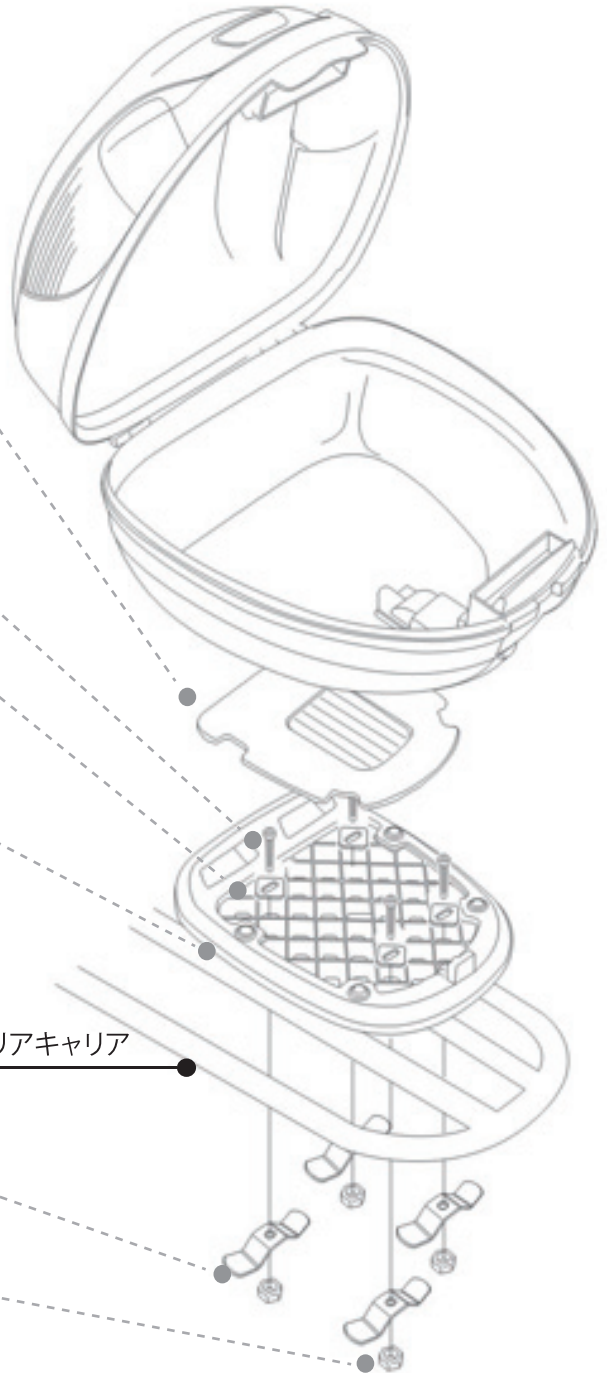
E



D



C



車体のリアキャリア

## 商品使用上のご注意

この度はモトボワットBBリアボックスをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

取り付け前に必ず注意事項をお読み頂き、内容をよく理解してお使いください。

注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

### ・完全に固定されているか(本固定)の確認

ケースがベースに完全に固定されていない状態で走行すると走行中にケースが外れ大変危険です。

## ⚠️ ご注意

- ・スペアキーは必ず別の場所に大切に保管してください(防犯上キーのみの販売はしていません)。
- ・フタを閉める際は、フックでストッパーを掛けて鍵をかけてください。  
確実にフタが閉まったのを確認してから走行してください。
- ・走行前にはボルトに緩みがないか、本体等にガタつきや異常がないか必ず確認してください。
- ・走行中にボルトの緩みにより脱落しないように確実にボルトを締めつけてください。
- ・フタを開ける際は、カギを確実に奥まで挿入しゆっくり右に回して下さい。その時、無理にフタを開けないでください。
- ・定期点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となります。必ず実施してください。
- ・施錠しても盗難を完全には防止できません。  
車両を離れるときは、貴重品を入れなくて、ケースを外して持ち歩くなど防犯対策が必要です。

## セット内容

■BB32N、BB32N-2、BB32N-3、BB32N-4

